

日本カヌー連盟

■公認カヌー指導員

養成目的 地域スポーツクラブ等において、初心者や子どもたちを対象にカヌーの専門的実技指導にあたる指導者を養成する。環境条件にあった指導内容を検討し普及にあたる指導者を養成する。

役割 地域スポーツクラブ等が主催するカヌー教室等での実技指導にあたる。自然条件（湖、池、河川、海など）を考慮した指導にあたる。国民体育大会の監督にあたる。

受講条件 受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者

カリキュラム 共通科目35h（共通Ⅰ） 専門科目40h

受講料 共通科目 21,000円 専門科目 14,700円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本カヌー連盟が定める研修または日本体育協会(都道府県体育協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。

担当委員会 日本カヌー連盟 指導者育成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1	① カヌーに関する基礎的知識	10h	0h	10h
	② カヌースプリント漕法の基本技術	0h	10h	10h
	③ カヌースラローム漕法の基本技術	0h		
	④ カヌーワイルドウォーター漕法の基本技術	0h		
	⑤ カヌーポロ漕法の基本技術	0h		
計	10h	10h	20h	
2	① 基礎的なカヌー漕法の基本技術	10h	0h	10h
	計	10h	0h	10h
3	① 初心者に対しての基礎的指導法	10h	0h	10h
	計	10h	0h	10h
		30h	10h	40h

■公認カヌー上級指導員

養成目的 地域スポーツクラブ等において、競技としての活動を目指したレベルの指導にあたる指導者を養成する。地域スポーツレベルで開催するカヌー教室等の指導において中心的な役割を担う指導者を養成する。

役割 地域スポーツクラブ等に所属するレベルの競技者の指導にあたる。地域スポーツクラブ等が主催するカヌー教室等の企画・運営を担当する。国民体育大会の監督にあたる。

受講条件 受講年度の4月1日現在満22歳以上で、都道府県

カヌー連盟が認めた者

カリキュラム 共通科目70h（共通Ⅰ+Ⅱ） 専門科目20h

受講料 共通科目 14,700円(共通Ⅰ免除者は8,400円) 専門科目 10,500円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本カヌー連盟が定める研修または日本体育協会(都道府県体育協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。

担当委員会 日本カヌー連盟 指導者育成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1	① カヌーに関する専門的知識	2h	0h	2h
	② カヌースプリント漕法の専門技術	2h	0h	2h
	③ カヌースラローム漕法の専門技術	2h	0h	2h
	④ カヌーワイルドウォーター漕法の専門技術	2h	0h	2h
	⑤ カヌーポロ漕法の専門技術	2h	0h	2h
計	10h	0h	10h	
2	① カヌー漕法の専門技術	5h	0h	5h
	計	5h	0h	5h
3	① カヌー漕法の専門的指導法	5h	0h	5h
	計	5h	0h	5h
		20h	0h	20h

■公認カヌーコーチ

養成目的 国内レベルの競技会に参加する競技者の指導・育成にあたる指導者を養成する。地域スポーツクラブ等の指導において中心的な役割を担い、指導者育成に貢献する指導者を養成する。

役割 国内レベルの大会のコーチにあたる。専門科目講習会等の講師補佐を担当する。国民体育大会の監督にあたる。

受講条件 受講年度の4月1日現在満20歳以上で、都道府県カヌー連盟が推薦し、日本カヌー連盟が認めた者。

カリキュラム 共通科目152.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）専門科目60h

受講料 共通科目 18,900円 専門科目 10,500円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本カヌー連盟が定める研修または日本体育協会(都道府県体育協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。

担当委員会 日本カヌー連盟 指導者育成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1 種目の特性に応じた基礎理論	① 日本カヌー連盟の組織と活動・カヌーの歴史	2h	2h	4h
	② カヌーにおけるドーピング防止	2h	2h	4h
	③ カヌーのバイオメカニクス	2h	2h	4h
	④ カヌーの国際情勢	2h	2h	4h
	⑤ 安全対策・救助法	2h	2h	4h
	⑥ カヌーの生理学	2h	2h	4h
	⑦ カヌーのスポーツ栄養学	2h	2h	4h
	⑧ カヌーの練習環境	2h	2h	4h
	⑨ カヌーの競技規則	2h	2h	4h
	⑩ 審判員の養成	2h	2h	4h
	計	20h	20h	40h
2 実技	① カヌースプリント漕法の専門技術	2h	0h	2h
	② カヌースラローム漕法の専門技術	2h	0h	2h
	③ カヌーワイルドウォーター漕法の専門技術	2h	0h	2h
	④ カヌーポロ漕法の専門技術	2h	0h	2h
	⑤ カヌーに必要な陸上トレーニング	2h	0h	2h
	計	10h	0h	10h
3 指導実習	① カヌーにおける救急処置	2h	0h	2h
	② 回流水槽を用いた漕法指導	2h	0h	2h
	③ ウェイトトレーニング	2h	0h	2h
	④ 各種機器を用いた漕法指導	2h	0h	2h
	⑤ 艇の維持・管理方法	2h	0h	2h
	計	10h	0h	10h
		40h	20h	60h

■公認カヌー上級コーチ

養成目的 国際レベルの競技会に参加する競技者の指導・育成にあたる指導者を養成する。

国内レベルの競技会において中心的な役割を担い、指導者育成に貢献する指導者を養成する。

役割 オリンピックや世界選手権等の国際レベル大会の監督やコーチにあたる。専門科目講習会等の講師となる。国民体育大会の監督にあたる。

受講条件 受講年度の4月1日現在満22歳以上で、日本カヌー連盟が認めた者。

カリキュラム 共通科目192.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ）専門科目40h

受講料 共通科目46,200円（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ免除者は27,300円）専門科目 16,800円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本カヌー連盟が定める研修または日本体育協会(都道府県体育協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。

担当委員会 日本カヌー連盟 指導者育成委員会

区分		カリキュラム内容			時間数		
					集合	その他	計
1	種目の特性に応じた基礎理論	①	国際レベルの選手の養成（カヌー競技の長期トレーニング計画・立案）	2h	4h	6h	
		②	国際レベルの選手の養成（ドーピングに関する基礎知識）	2h	4h	6h	
		③	国際レベルの選手の養成（カヌー選手の身体能力の分析）	2h	4h	6h	
		④	国際レベルの選手の養成（コース設定と維持管理）	2h	4h	6h	
		⑤	国際レベルの選手の養成（トップクラス選手の動作分析）	2h	4h	6h	
		計		10h	20h	30h	
2	実技	①	トップクラス選手の漕法分析（オリンピックレベル選手の漕法分析）	5h	0h	5h	
		計		5h	0h	5h	
3	指導実習	①	トップクラス選手の漕法指導（回流水槽を用いた漕法指導）	5h	0h	5h	
		計		5h	0h	5h	
				20h	20h	40h	

《専門科目における講習・試験の免除》

下記の者については、日本カヌー連盟指導者育成委員会と日本体育協会にて内容・程度を審査の上、免除項目を決定する。

1. 日本カヌー連盟が主催した指導者講習会・研修会等を受講した者
2. 国際大会等で優秀な成績を収めた者で、コーチとしての能力が優れていると認められた者
3. 国際大会等で優秀な成績を収めた選手を指導・育成する等、コーチとしての能力が優れていると認められた者
4. 国外での資格取得者
5. 在外研修修了者